

MUSICAL

アニオー姫

～ Hẹn gặp lại 再び～



報道関係者各位

2026年5月27日
「アニオー姫」実行委員会

新作ミュージカル『アニオー姫』～ Hẹn gặp lại 再び～ ビジュアル解禁・5/27（水）チケット先行販売開始

「アニオー姫」実行委員会（ブレイングループ、ヤマハミュージックベトナム、NPO国際交流促進協議会）は、新作ミュージカル『アニオー姫』～ Hẹn gặp lại 再び～ を9月12日（土）よりKAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉にて初上演いたします。

また、5月27日（水）10時より各プレイガイドにてチケットのWEB先行抽選販売を開始、6月13日（土）10時から是一般販売を開始します。

「国や時代を越える希望」を表現したメインビジュアル

本作は、約400年前、実際に存在したベトナムの王女と日本の商人との海を越えた愛の物語。主人公ふたりの愛と生きざまを通して、文化や習慣、国籍、身分といったさまざまなちがいを認め合い、理解しようとすることの尊さを描きます。

長崎に嫁いだゴックホア姫は、人々から親しみを込めて「アニオーさん」と呼ばれ、その輿入れの様子は、今も長崎の伝統祭「長崎くんち」の演目「御朱印船」として語り継がれています。それは単なる恋愛譚ではなく、日本とベトナムが古くから海を介して結ばれていた記憶であり、人と人とが国を越えて心を通わせてきた二国の友好的な歴史の象徴でもあります。

サブタイトルの「Hẹn gặp lại（ヘンガップライ）」は、ベトナム語で「またね（また会いましょう）」や「再会」を意味する言葉です。ふたりの人生は、決して平穏なものではありませんでした。時代は鎖国へと向かい、自由に海を渡ることも難しくなってしまいます。抗うことのできない時代の流れの中で、祖国の両親や愛しい人々に再び会える未来を信じ、異国の地で明るくたくましく生き抜いたアニオー姫と、そんな姫をやさしく包む宗太郎。

時代や隔たりを越えて、人と人とのあたたかい想いが未来へ受け継がれていく。そんな希望をメインビジュアルに込めています。

あなたは、17世紀初頭にあったベトナムのお姫様と日本の商人との愛の物語をご存知ですか

MUSICAL

アニオー姫

海を越え、時代を越えて
～ Hẹn gặp lại 再び～

荒木宗太郎 [Wキャスト] アニオー姫 [Wキャスト] アニオー姫 [Wキャスト] 荒木宗太郎 [Wキャスト]

田代万里生 音くり寿 ドー・ファン・ザ・ハン 小野田龍之介

2026.9.12 [土] - 9.27 [日] プレビュー公演 2026.9.11 [金] KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉

5月27日(水) より、チケットWEB先行抽選販売開始！

一般発売日 2026年6月13日(土)

2026年9月12日(土)～9月27日(日) ※全21回公演予定 プレビュー公演：2026年9月11日(金)

11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月・祝	22 火・祝	23 水・祝	24 木	25 金	26 土	27 日
13:00	12:30	13:00	13:00	13:00	12:30	休演日	12:30	13:00	12:30	13:00	12:30	13:00	休演日	12:30	12:30	13:00
	17:00				17:00		17:00			17:00				17:00	17:00	

全席指定・税込

	9/11(金) プレビュー公演	平日	土日祝日・千穂楽
SS席	14,500円	15,000円	16,000円
S席	12,500円	13,000円	14,000円
A席	9,500円	10,000円	11,000円
B席	4,500円	5,000円	6,000円

チケットかながわ/チケットぴあ/e+ (イープラス) /ローソンチケット/アソビユー! /カンフェティ
詳細は、公式サイトチケットページより：<https://musical.anio.jp/schedule/>

小野田龍之介がベトナム・ホイアンを訪問



ランタンを灯した舟が浮かぶトゥボン川



日本人墓地を訪問

荒木宗太郎役(Wキャスト)の小野田龍之介が、5月中旬に物語ゆかりの地であるベトナム・ホイアンを訪れました。日本橋(来遠橋)や日本人墓地、旧市街に展示されている朱印船のレプリカなどを巡り、17世紀の日越交流の歴史や、今も街に残る日本とのつながりに触れました。

小野田は、現地の人々のあたたかさや、湿気を含んだ独特の空気感、生命力あふれる緑の風景などに強く心を惹かれたと語り、「ベトナムと日本がとても近い存在なのだと改めて感じた」とコメント。

また、キービジュアルを手がけた漆画家・安藤彩英子のアトリエも訪問。アトリエに並ぶ漆画作品からは「近未来的な、宇宙的なエネルギーを感じた」と語り、「今年の製作発表会で初めてキービジュアルのもととなった『アニオー姫』の漆画を見たときに、作品の可能性を感じ大きな感銘を受けた。この作品を描いた方に会ってみたいと思っていたので、お会いできて本当に嬉しかった」と感想を述べました。



朱印船レプリカの前で



トゥボン川沿いを散策

不思議な偶然の出逢いに導かれた旅

ホイアン訪問のなかでも特に印象的だったのが、朱印船のレプリカを見学していたときの偶然の出会い。一人の日本人男性から「今でも長崎のお祭りでも使われているんですよ」と声をかけられたことをきっかけに、話題は荒木宗太郎やアニオー姫、そしてオペラやミュージカル化にまで広がりました。その方は長崎からの旅行者の一行で、荒木宗太郎の史実について深い知識と思い入れを持っており、小野田が“ミュージカルで荒木宗太郎役を演じる”と伝えると、大変驚いて喜んでいました。

小野田は「自ら話を伺いに行ったわけではなく、偶然ホイアンという場所で、今も語り継ごうとしている方に出会えたことがとても印象的だった」「この作品に関わったことで、荒木宗太郎やアニオー姫が、長崎の方々にとって今なお大切な存在であることを実感した」と語りました。

さらに、「劇場ではない場所で、作品や役を通して人に喜んでもらったことがとても嬉しかった」と振り返り、ホイアンでの体験を通して、物語の背景だけでなく、現代へと受け継がれる人々の思いや絆にじかに触れられたことが、役への理解と作品への思いをより一層深める機会になったとコメントしました。

4人のキャストが衣裳姿で集結した最新PVも公開

公式サイトでは最新プロモーションビデオも公開。ミュージカル『アニオー姫』として初めて、アニオー姫役・荒木宗太郎役（Wキャスト）の4名が衣裳姿でPVに収められました。

国を越え、時代を越えた愛の物語が、いよいよ動き始めます！



アニオー姫の物語

あの日の出会いから、すべてが愛しい日々。

17世紀初頭の大航海時代。交易で賑わう港町ホイアンで、日本の長崎からやってきた商人荒木宗太郎と、人々に愛される王女ゴックホア姫とが運命的に出逢う。好奇心旺盛なお転婆姫と、海を越えて夢を追う宗太郎。二人は、国も身分も越えて心を通わせていく。

港町にあふれる笑い声、賑やかな仲間たち。嫁いだ先の長崎の町で、姫は「アニオーさん」と呼ばれ親しまれながら幸せに暮らしていた。その矢先、鎖国という時代の荒波が襲いかかる。それでも、二人は希望を胸に抱き、流れゆく時のなかで、愛する人たちと未来を紡ぎ続けていく。

「長崎くんち」の演目として、現在にまで語り継がれる史実に着想を得て描く、国を越え愛し合った二人の、幸せに満ちた日々。今なお輝きつづける愛の物語を、オリジナルミュージカルでお届けします！

荒木宗太郎 (Wキャスト)

朱印船「荒木船」の船長。

勇気と知恵を兼ね備え、人を助ける優しさと商人としての誇りを持つ。グエン王の信頼を得て「グエン・タイラン (阮太郎)」の名を授かる。

田代万里生



東京藝術大学音楽学部声楽科テノール専攻卒業。幼少よりピアノやヴァイオリンを始め、15歳から本格的に声楽を学ぶ。大学在学中の2003年『欲望という名の電車』でオペラデビュー。2009年『マルグリット』でミュージカルデビュー。以降ミュージカルを中心に数々の舞台で活躍。主な出演作『エリザベート』『マリー・アントワネット』等多数。第39回菊田一夫演劇賞受賞。

小野田龍之介



幼少より経験を重ね、確固たる演技力・幼少より培ったダンス力・圧倒的な歌唱力を武器にミュージカルを中心に活躍。2011年「第1回シルヴェスター・リーヴァイ国際ミュージカル歌唱コンサート・コンクール」にてリーヴァイ特別賞を受賞。主な出演作『レ・ミゼラブル』『ミス・サイゴン』『メリー・ポピンズ』等多数。

アニオー姫 (ゴックホア姫) (Wキャスト)

グエン王の末娘。その明るさと優しさで人々に愛される王女。

自由奔放で好奇心旺盛、お忍びで町に出かけるのが大好きなお転婆姫。自らの心で人生を選ぶ芯の強さを持つ。

音くり寿



宝塚歌劇団花組の娘役として、2014年の入団以来数々の重要な役を務める。2022年『巡礼の年〜リスト・フィレンツェ、魂の彷徨〜』『Fashionable Empire』にて退団後はミュージカルを中心に幅広く活動。『ねじまき鳥クロニクル』『賭ケグルイ』など話題作に出演。コンサートやリーディング公演でも表現力を磨き、多彩な活動を展開している。

ドー・ファン・ザ・ハン



3歳の頃から独学で学び、英語を理解しない幼少期より、朝から晩まで『オペラ座の怪人』を聴いて歌詞やメロディーを真似していた。2022年15歳の時にミュージカル『不思議の国のアリス』でデビュー。2023年アジア芸術フェスティバルで声楽部門銀賞を受賞。その後、ベトナム国立音楽院声楽科に首席で合格。音楽への情熱を追い続けている。

【キャスト】

田代万里生 小野田龍之介 音くり寿 ドー・ファン・ザ・ハン

今井清隆 / 吉沢梨絵 井料瑠美

栗原英雄 戸井勝海

斎藤准一郎 蛭牟田実里 浅場万矢 ホアン・フォン・リン

大越やよい 鈴木楓加

藤浦功一 廣瀬喜一 村上幸央 武藤寛 森山大輔

石田優月 今村心音 牛丸颯希 篠田果鈴 上西郷太

傳法谷みずき 中村ひかり 檜原じゅんや 矢野友実 山下麗奈

【クリエイティブチーム】

総監督／演出／台本／作詞（日本語）：大山大輔

作曲：チャン・マイン・フン

台本／作詞（ベトナム語）：ハー・クアン・ミン

振付：本間憲一

アーティスティックアドバイザー：本名徹次

美術：伊藤雅子

照明：齋藤茂男

衣裳：ひびのこづえ

ヘアメイク：赤松絵利

音響：原英夫、大坪正仁

舞台映像：松澤延拓、中澤裕季

擬闘：栗原直樹

舞台監督：幸泉浩司

演出補：砂川真緒

振付助手：北村岳子

音楽スーパーバイザー：鎮守めぐみ

オーケストレーター：竹内聡

エレクトロニック・ミュージック・デザイナー：ヒロ・イイダ

歌唱指導：門井友紀

バンドコーディネイター：新音楽協会

オーケストラ指揮：本名徹次

演奏：アニオー姫バンド、神奈川フィルハーモニー管弦楽団（収録）

キャストイング：中西聡、大場麻衣子

歴史考証：菊池誠一、友田博通

日本語指導：野口亮司、グエン・ドー・タイン

キービジュアル：ベトナム漆画家 安藤彩英子

※ミュージカルのキービジュアル

ミュージカル『アニオー姫』のキービジュアルは、漆画家安藤彩英子とデザインチームがミュージカルのコンセプトに合わせて、オペラ『アニオー姫』のために制作されたベトナム漆画キービジュアルのデータを基に、背景に満天の星空をデジタル合成したものです。

プロジェクト名誉顧問：ファム・クアン・ヒエウ、伊藤直樹

プロジェクトスーパーバイザー：黒岩祐治

スペシャルアドバイザー：山田滝雄

制作アドバイザー：チャン・リ・リー

制作：佐々木真二

プロデューサー：ドアン・ゴック・ヒエウ、大竹悠司

統括プロデューサー：古川直正

エグゼクティブプロデューサー：前田俊秀

※2026年5月19日現在の情報

開催概要

タイトル ミュージカル『アニオー姫』～ Hẹn gặp lại 再び～

公演日程 2026年9月12日(土)～9月27日(日) ※全21回公演予定
プレビュー公演：2026年9月11日(金)

公演会場 K A A T神奈川芸術劇場<ホール> (神奈川県横浜市中区山下町281)

主催 「アニオー姫」実行委員会
(ブレイングループ、ヤマハミュージックベトナム、NPO国際交流促進協議会)

共催 日本経済新聞社

提携 K A A T神奈川芸術劇場

名誉顧問 ファム・クアン・ヒエウ(駐日ベトナム大使館特命全権大使)
伊藤直樹(駐ベトナム日本国大使館特命全権大使)後援 日本外務省、日本文化庁、神奈川県、長崎県、長崎市、公益社団法人ベトナム協会、
一般財団法人日本・ベトナム文化交流協会、特定非営利活動法人日越堺友好協会、
特定非営利活動法人堺国際交流協会、NPO法人長崎・ベトナム友好協会、
一般社団法人健康で安心な社会づくり推進協議会、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター、
一般社団法人長崎県観光連盟、一般社団法人長崎県医師会、一般社団法人長崎市医師会、
公益財団法人徳川記念財団、横浜商工会議所
ベトナム外務省、ベトナム文化スポーツ観光省、ダナン市、
Vietnam Television、ホーグオムオペラハウス、ベトナム音楽家協会、ベトナム国立交響楽団、
ベトナム国立オペラバレエ団、ホーチミン市立オペラバレエ交響楽団、ホーチミン市音楽院、
ホイアン世界遺産文化保護センター、在日ベトナム学生青年協会、在日ベトナム語協会、
在日ベトナム伝統文化芸術協会協賛 [プラチナサポーター]
大和ハウス工業株式会社、東急株式会社
[ゴールドサポーター]
株式会社ニトリホールディングス、イオン株式会社
[シルバーサポーター]
株式会社三井住友銀行、商工中金、ホテル三日月グループ、相鉄ホールディングス株式会社、
RIZAPグループ株式会社、株式会社JTB、キリンホールディングス株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、
全日本空輸株式会社、三井不動産株式会社、ロート製薬株式会社、株式会社伊藤園、
日本航空株式会社
[ブロンズサポーター]
国際医療福祉大学、株式会社きらぼし銀行、株式会社横浜銀行、京浜急行電鉄株式会社、
株式会社アトリエヨシノ、日本経済大学、ハリウッド大学院大学、みなとみらい線、
NTT東日本株式会社、アチーブメント株式会社、株式会社ファンケル、
伊藤忠商事株式会社、神奈川県民共済生活協同組合、JR東日本、東京海上日動火災保険株式会社協力 株式会社三修社
公式サイト <https://musical.anio.jp/>Daiwa House®
大和ハウスグループ

東急



本作に関するお問い合わせ

「アニオー姫」実行委員会事務局 info-musical@anio.jp